「SDGs未来安心都市・明石」の担い手づくり
＝持続可能な社会の担い手を育てる

2022年度版

明石市のコミュニティ・スクール

Mission
「社会に開かれた教育課程」の実現
（=社会全体で人が育つ　人を育てる仕組づくり）

時代が変われば　学びも変わる
持続可能な社会を担う人育て

いつの間にか課題先進国

低い労働生産性　資源・エネルギー問題　人口減少・少子高齢化

地域社会・家族の変容　多様性と共生社会　都市への人口集中・地方の衰退

人手不足　グローバル化の遅れ　社会資本の老朽化　AI時代の到来

労働人口の減少　環境問題・気候変動の深刻化　介護問題

格差社会・貧困問題　デジタル化への遅れ　社会保障費

長期的な経済の低迷・・・・・・

高度経済成長期の成功体験
変わらない組織　変えられない仕組

SDGs未来安心都市・明石
いつまでも　すべての人に　やさしいまちを　みんなで

コミュニティ・スクールが求められる背景

OECD生徒の学習到達度調査2018年度PISAの結果

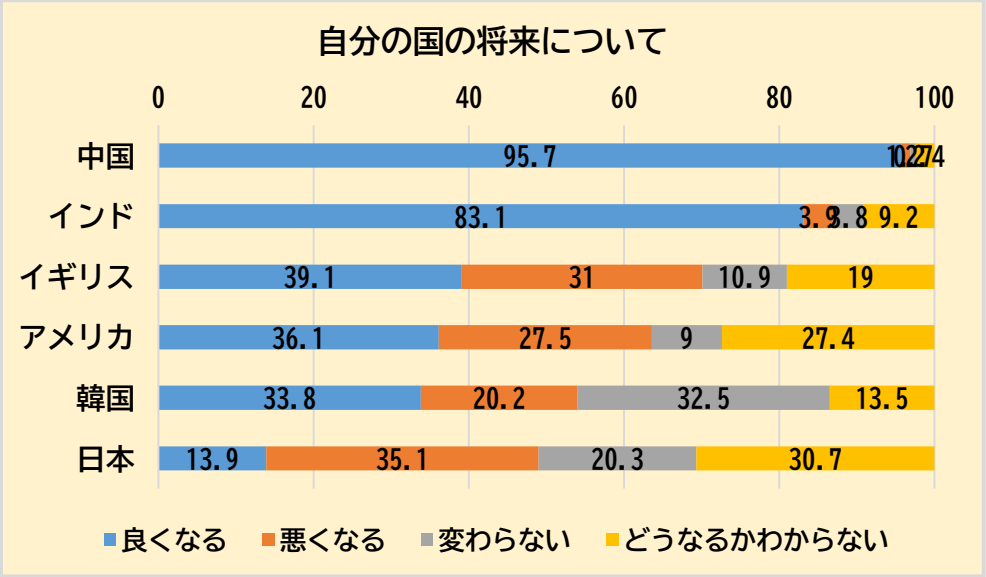
11/37カ国 ← 読解リテラシー　504点

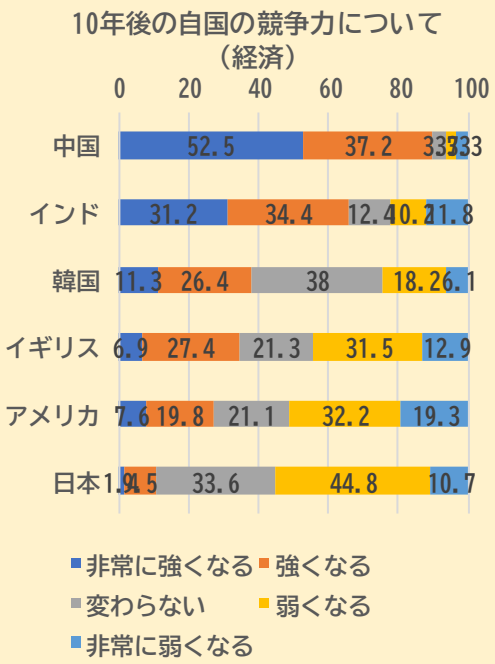
1/37カ国 ← 数学的リテラシー527点

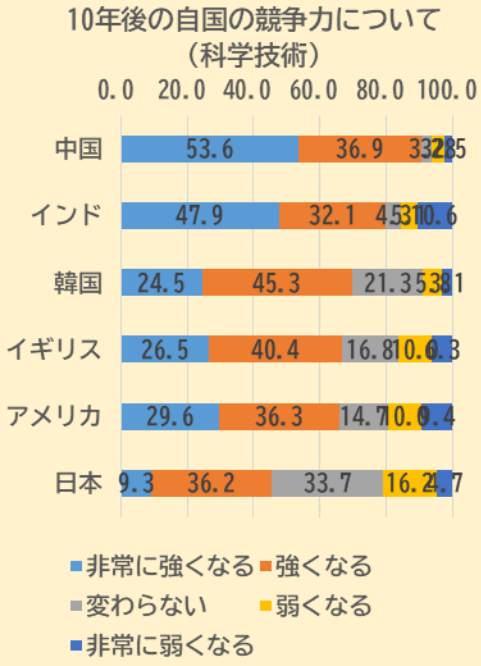
2/37カ国 ← 科学的リテラシー529点

自分の国の未来には？

若者の意識（18歳意識調査　日本財団2022年より）







日本の子ども・若者の傾向は？

↓

学　力
↓
トップクラス

↓

自国の未来
↓
期待を持てない

↓

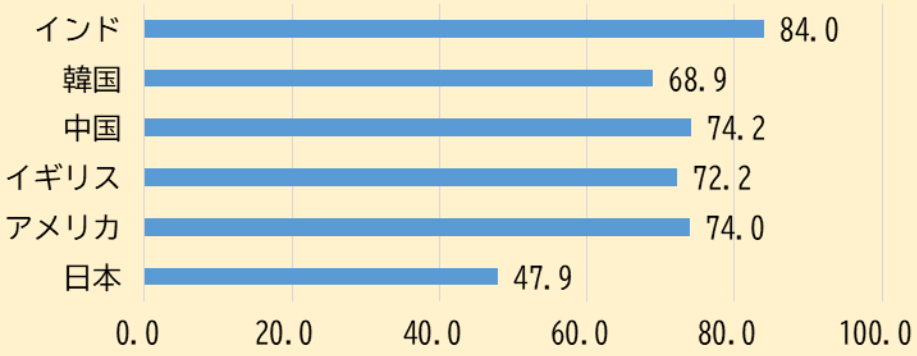
経済・技術革新
↓
遅れを実感

↓

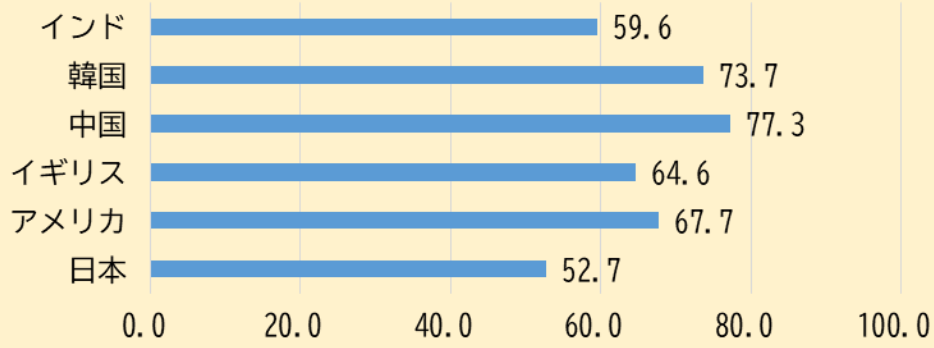
自分自身については？

若者の意識（18歳意識調査　日本財団2022年より）

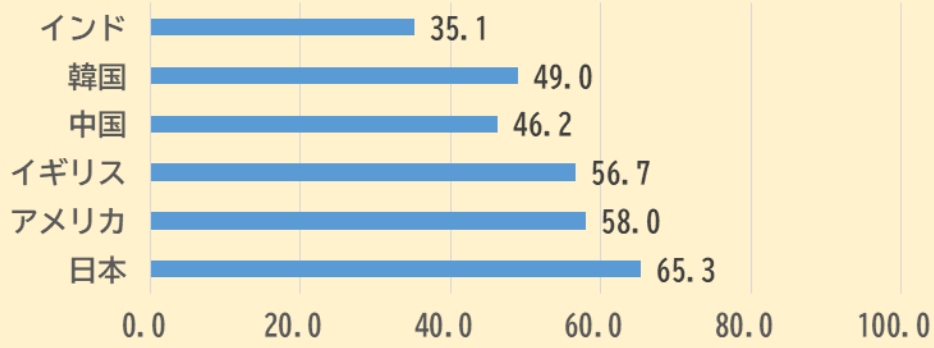
自分に人に誇れる個性がある



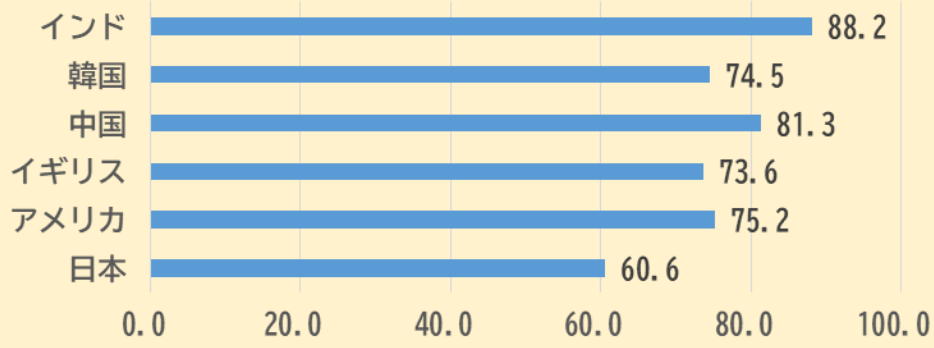
自分は他人から必要とされている



日々の生活で不安や憂鬱を感じる



自分の人生には目標や方向性がある



自分への自信
↓
持ちにくい

有用感・効力感
↓
持ちにくい

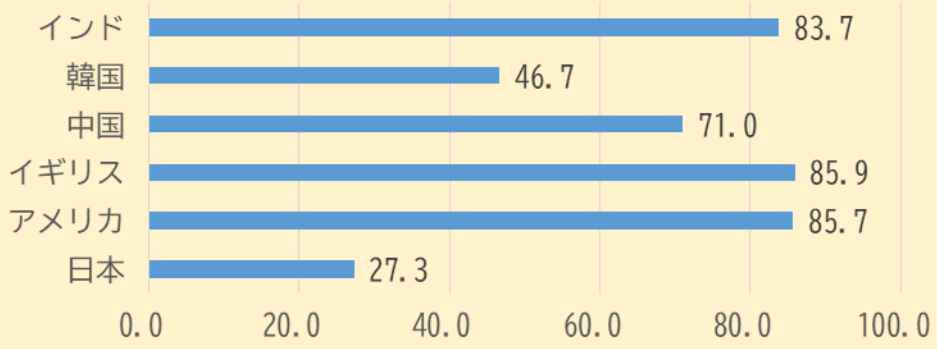
不安や憂鬱
↓
よく感じる

人生の目標
↓
何を目指して

自分と社会の関わりについては？

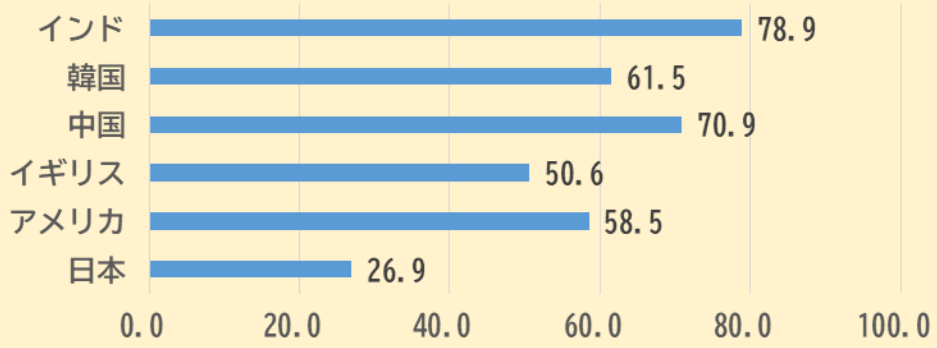
若者の意識（18歳意識調査　日本財団2022年より）

自分は大人だと思う



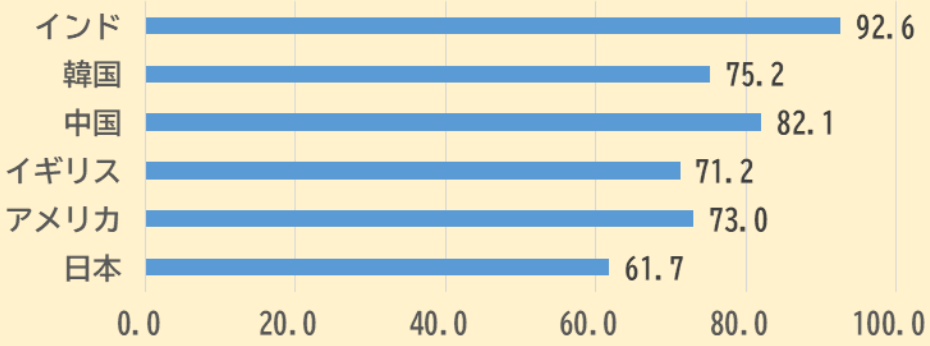
成人年齢
18歳？

自分の行動で、国や社会を変えられると思う



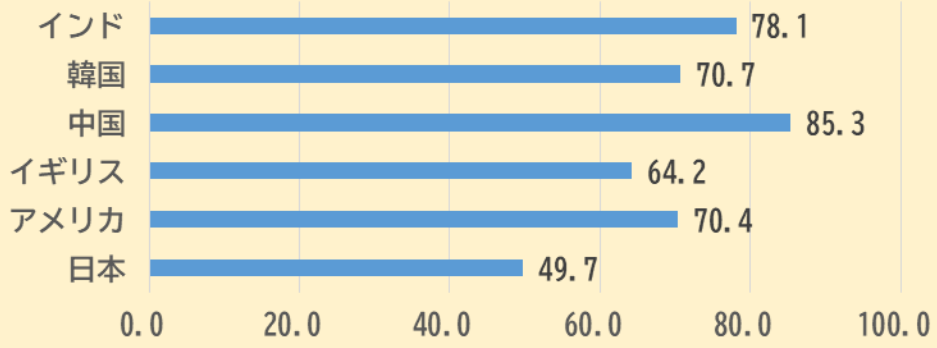
自国や社会
変える力なんて

国や社会に役立つことをしたいと思う



国や社会
役立ちたいけど

ボランティア活動に参加したい



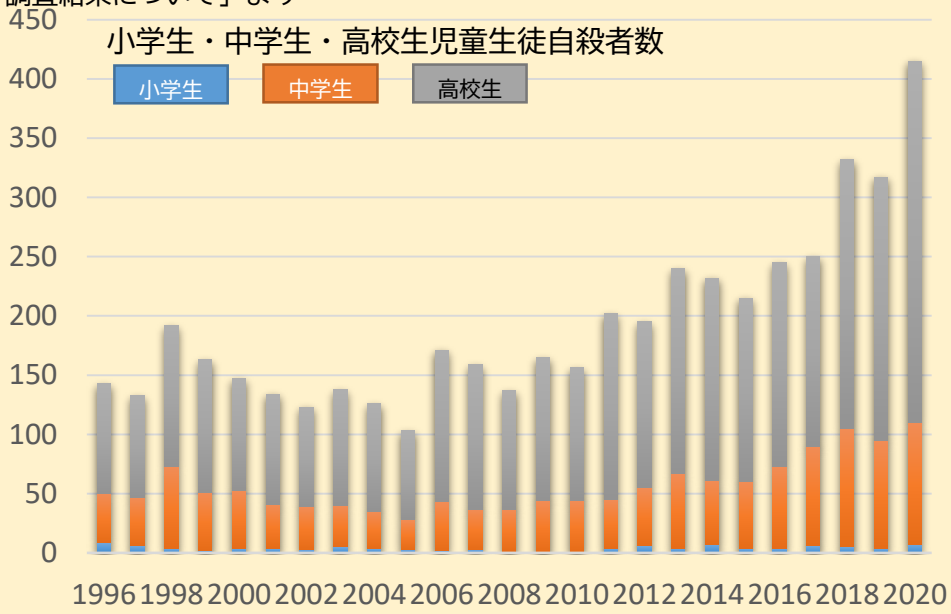
ボランティア
自分からは

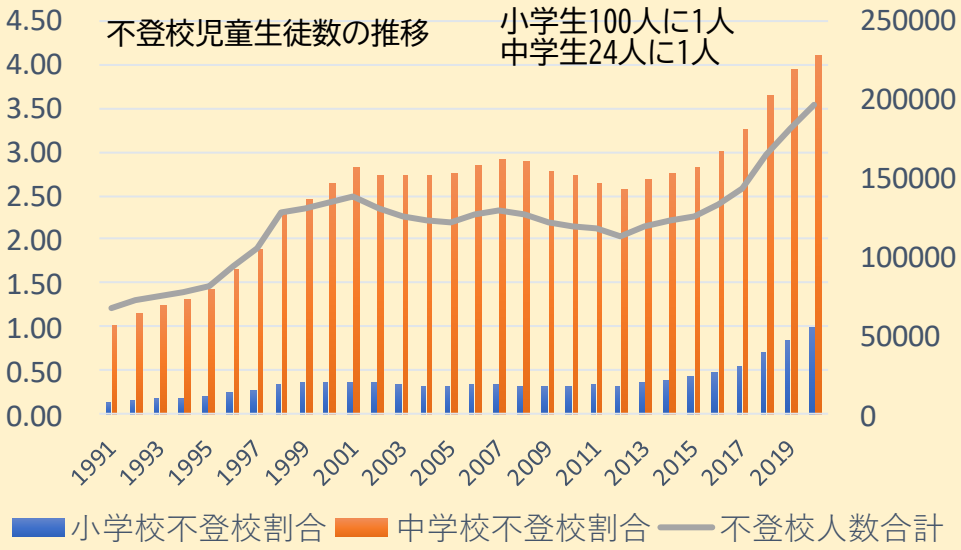
非認知スキルが育っていないのでは？

コミュニティ・スクールが求められる背景（社会的状況より）

人に関わる状況は？

「令和２年度　児童生徒の問題行動・不登校統制と指導上の諸問題に関する調査結果について」より





（参照：内閣府　選択する未来-人口推計から見えてくる未来像-）

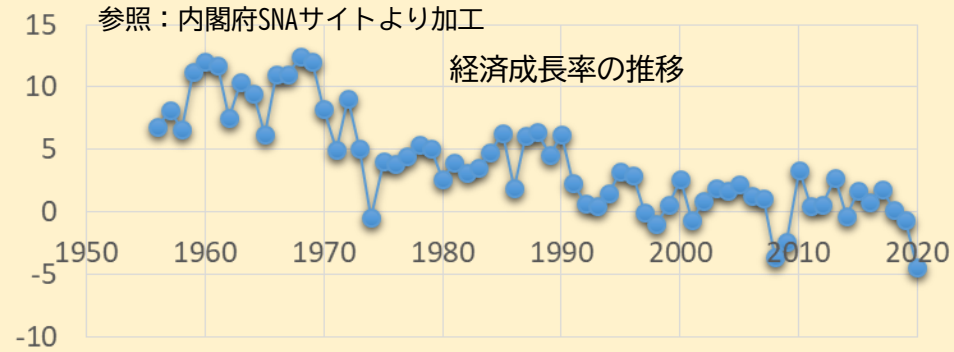
日本の社会
現状・課題は？

子どもの自殺
↓
増加傾向

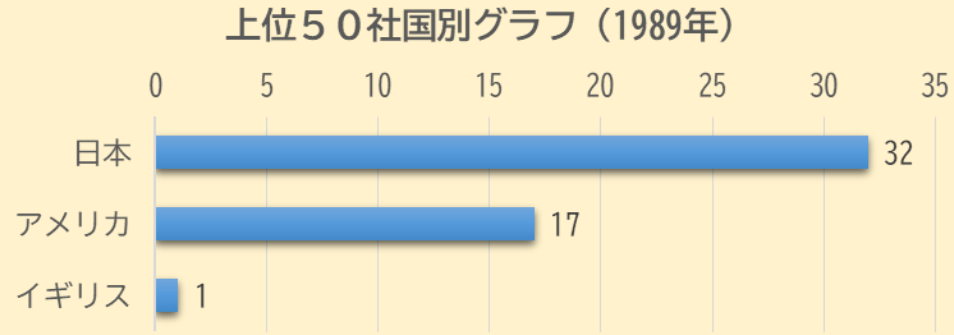
不登校
↓
増加傾向

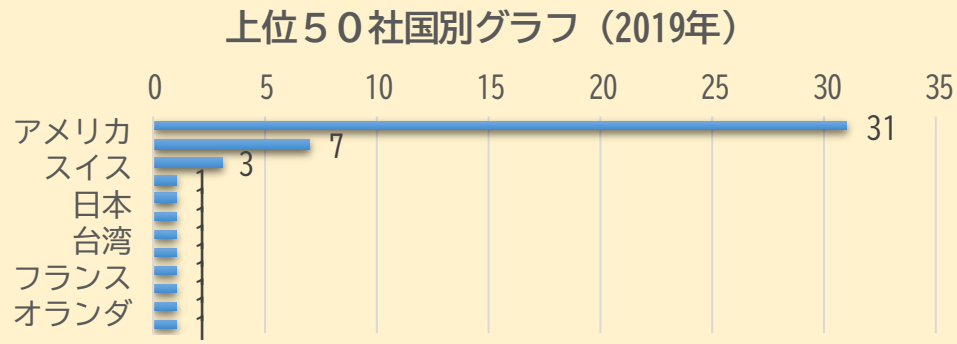
世界トップの高齢化
↓
様々な課題が

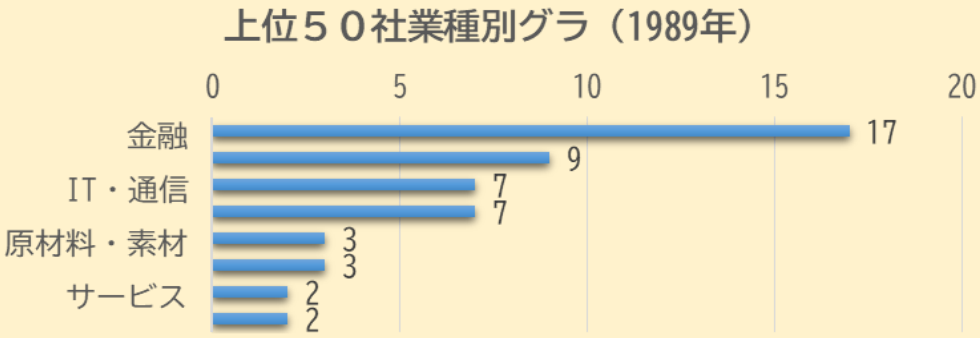
経済に関わる状況は？

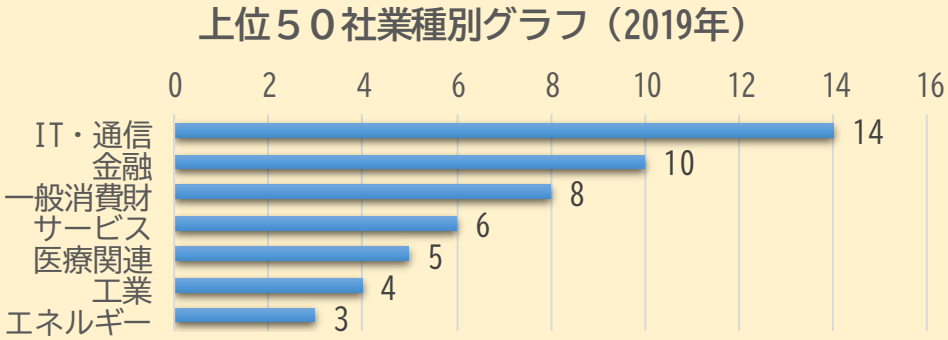


グローバル時価総額ランキング（STARTUP DBより）









経済成長率の低迷
↓
教育格差の拡大に

↓

世界の中で
↓
強い日本の企業

↓

世界の中で
↓
取り残された日本

↓

強い日本の銀行
↓
バブルを引っ張る

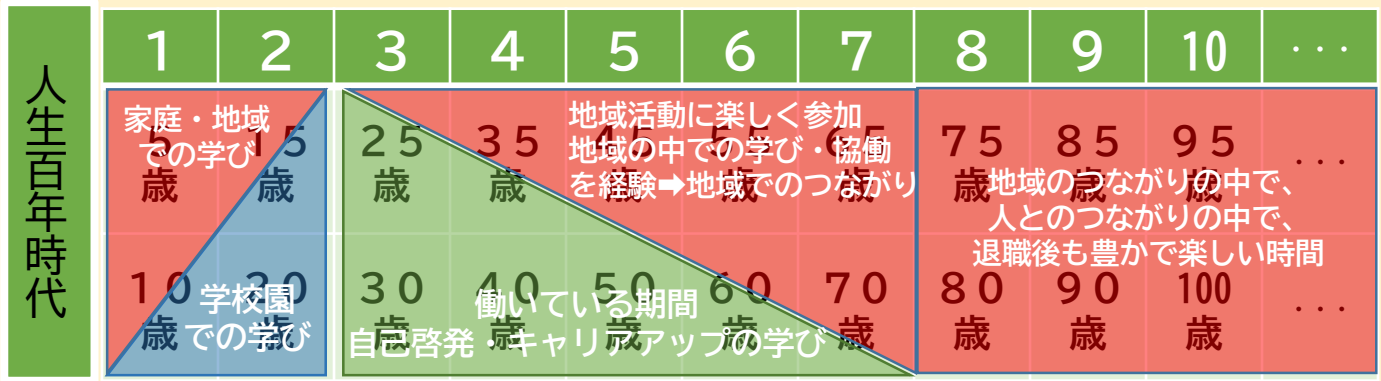
↓

GAFAMの時代
↓
これから先は

↓

社会の仕組全体が時代遅れ？

「生きる力」の獲得はいつどこで始まるのだろう？
「生きる力」の獲得にはどんな学びが必要なのだろう？



あかし教育プラン（生涯学び続ける基礎づくり）

育む５つの力
- ➡多様化する社会を生き抜ける力
- ➡自分の行動や考え方を客観的に見つめる力
- ➡夢を描き、自律的に学びに向かう力
- ➡共に学ぶことの楽しさを知り、それを継続する力
- ➡たくましく、健やかに生きる力

明石市生涯学習ビジョン（個人と社会のWell-beingに向けての学び続けられる仕組づくり）

基本理念１
➡全ての市民が自己実現を図り豊かな人生を送れる社会

基本理念２
➡性別、年齢、障害の有無など多様性を認め合う共生社会

基本理念３
➡市民の公共意識（シチズンシップ）が高い社会

明石市教育大綱

やさしさ・創造力・自分らしさを未来へ
～「SDGｓ未来安心都市・明石」の担い手づくり～

〇誰一人取り残さない一人ひとりに寄り添った質の高い教育を行う
〇子どもの学びと育ちをまちのみんなで支える
〇持続可能な社会の担い手を育成する

あかしSDGｓ推進計画
（明石市第６次長期総合計画）
SDGｓ未来安心都市・明石
～いつまでも すべての人に やさしいまちを みんなで～

“保育所保育指針” “認定こども園型教育・保育要領”
“幼稚園教育要領・学習指導要領（小・中・高・特別支援学校）”

【学習指導要領・幼稚園教育要領の前文には】

これからの学校（幼稚園）には，（学校教育の始まりとして），こうした教育の目的及び目標の達成を目指しつつ，一人一人の児童（幼児・生徒）が，（将来），**自分のよさや可能性を認識する**とともに，**あらゆる他者を価値のある存在として尊重**し，**多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え**，**豊かな人生を切り拓き**，**持続可能な社会の創り手**となることができるようにすることが求められる。このために必要な教育の在り方を具体化するのが，各学校において教育の内容等を組織的かつ計画的に組み立てた教育課程である。　（一部抜粋）

【保育所保育指針、認定こども園型教育・保育要領には】

◎育みたい資質・能力として3つの柱
- ➡知識及び技能の基礎
- ➡思考力、判断力、表現力等の基礎
- ➡学びに向かう力、人間性等

◎10の姿（幼児期の終わりまでに育ってほしい姿）

①健康な心と身体
②自立心
③協同性
④道徳性・規範意識の芽生え
⑤社会生活との関わり
⑥思考力の芽生え
⑦自然との関わり・生命尊重
⑧数量・図形、文字などへの関心・感覚
⑨言葉による伝えあい
⑩豊かな感性と表現

参考）OECDの3つのキーコンピテンシー（文部科学省資料より）

コンピューターのような物理的な道具、および言語、情報、知識といった社会文化的な道具を活用して、自らをとりまく環境や他者と対話し、世界に働きかける力

①社会・文化的、技術的ツールを相互作用的に活用する能力

A. 言語、シンボル、テキストを相互作用的にいる
B. 知識や情報を相互作用的に用いる
C. 技術を相互作用的に用いる

個人的アイデンティティを発展させるとともに、いろいろな社会生活の場面において自分自身で判断し、責任ある役割を果たす力

②多様な社会グループにおける人間関係能力

A. 他者と良好な関係をつくる
B. 協働する
C. 争いを処理し、解決する

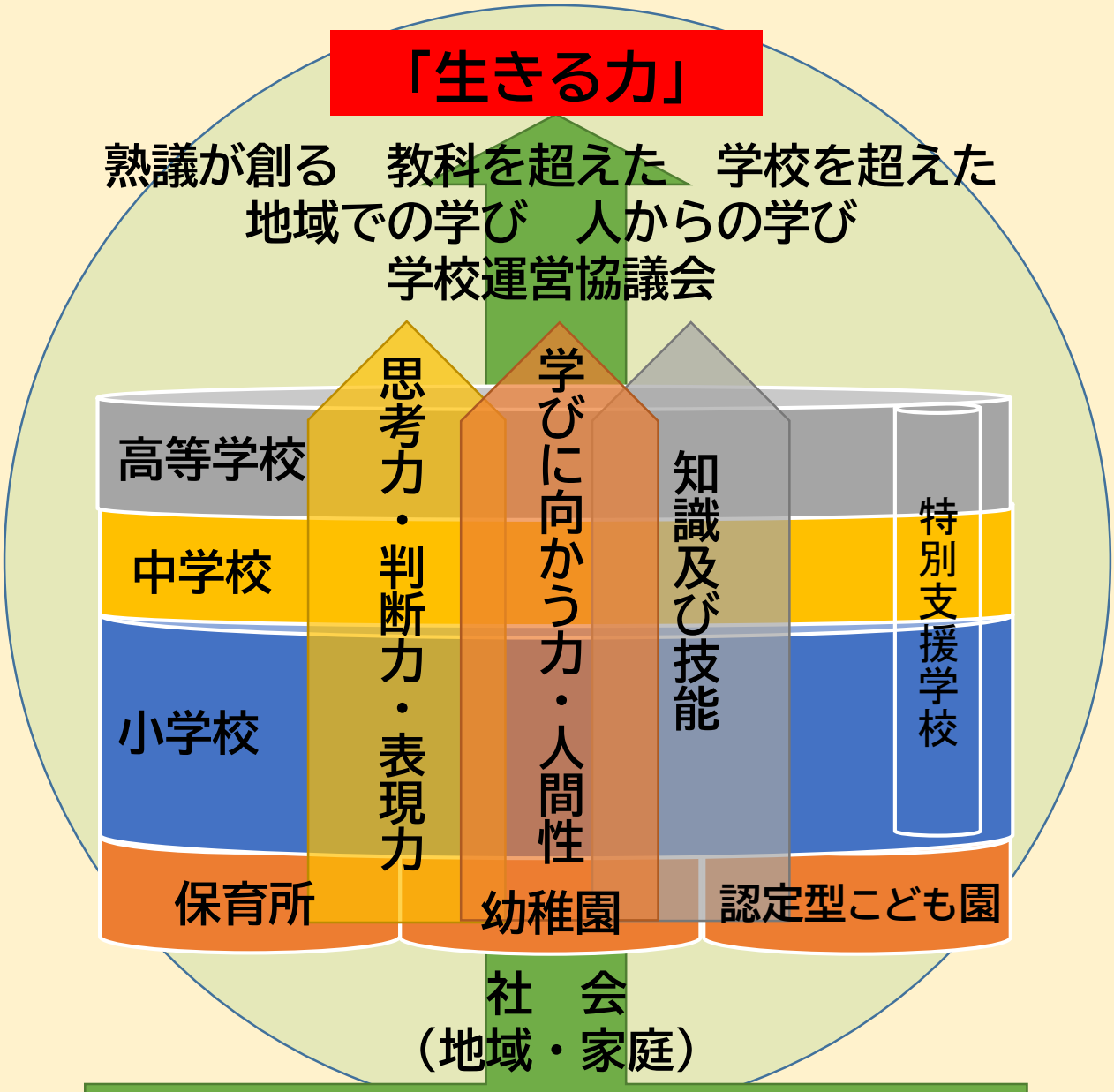
③自律的に行動する能力

A. 大きな展望の中で活動する
B. 人生計画や個人的プロジェクトを設計し実行する
C. 自らの権利、利害、限界やニーズを表明する

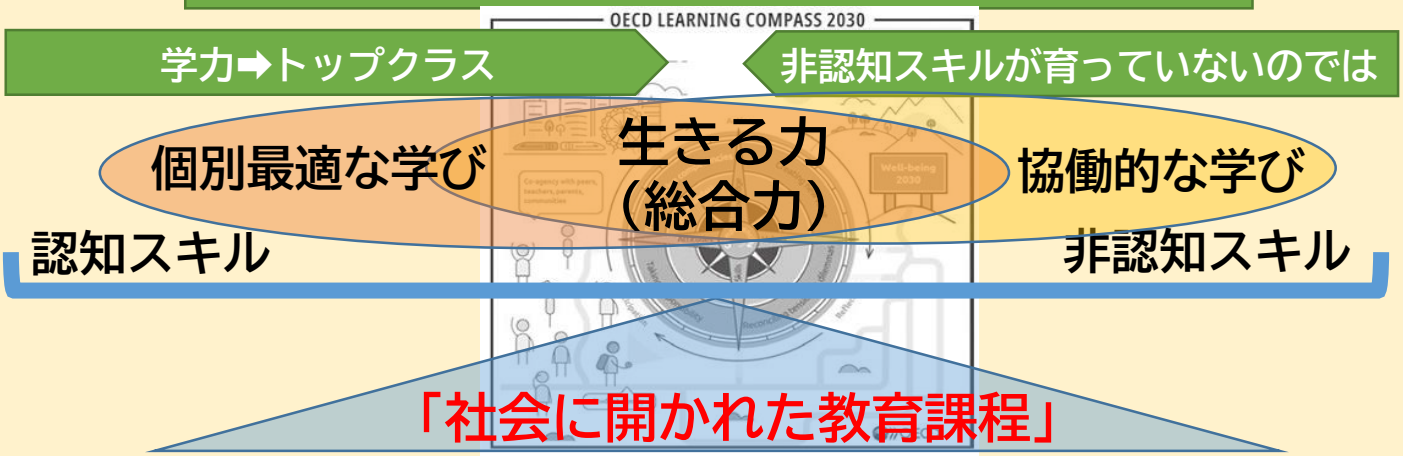
多様化・断片化しつつある社会の中で、異なる歴史・文化・社会経済背景などをもつ人々と関係を構築し、共に学び、生活し、働く力

「社会に開かれた教育課程」の実現

➡社会全体で人を育てる 人が育つ仕組づくり



人は　人を浴びて　人になる



「生きる力（総合力）」は学校だけでは無理

多様な社会の中で　社会からの学び　多様な人からの学び

「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて
総合力が育つ仕組づくりからのアプローチ

「共に育つ学校」の実現に向けて　～地域単元を核に～　松が丘小

「ありがとう」でつながる学校・地域とは…
地域の中で生きる、子どもが主人公の「松小ストーリー」～入学から卒業まで～

1年：愛されるステージ

・松っ子教室を始め、地域の方に大切にされる場面
・学校探検や掃除、給食など、2年生や6年生のお兄さんやお姉さんに大切にされる。

2年：気付くステージ

・ふれあいガーデンでサツマイモを育てる体験や町探検を通して、地域の方にお世話になり、地域の方の存在に気づく場面
・1年を学校探検に連れて行くことを通して、大切にされていたことに気づく場面

3年生：環境という視点から学校づくりに参画するステージ

・ホタルプロジェクトに参加
・中庭の環境・飼育小屋など、校内の動植物に目を向け、課題を発見し、改善に向けて、対話を行う場面。カリキュラムマネジメントマップ（カリマネマップ）では、理科とのコラボが考えられる。

4年生：福祉という視点で、地域とつながるステージ

・ユニバーサルデザインという視点を獲得し、学校や地域を見つめ直す場面
・障がいのある方の考えを教えてもらうことを通して、みんなが楽しい学校や地域を模索する。

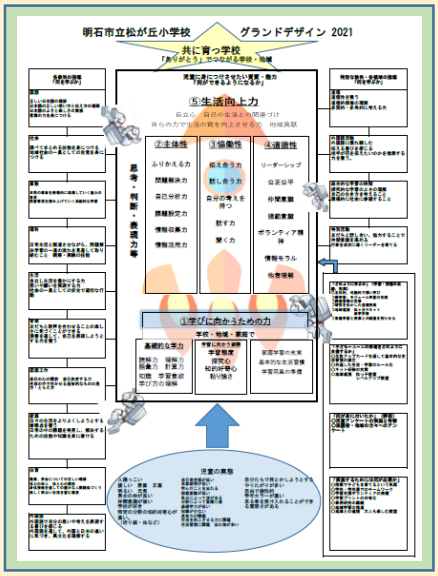
5年生：学校づくりに参画するステージ

・委員会が始まる。自分たちの力で、学校をよりよくしようとする。自治の意識が芽生えの場面。
・6年生の考えたプロジェクトに参加する中で課題を発見し、3学期には、改善するため、サミットで提案する。そこで、自分たちが6年生で取り組みたいプロジェクトを提案する。

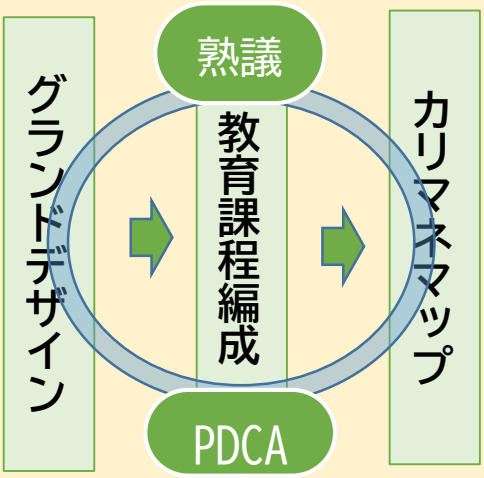
6年生：地域づくりに挑戦するステージ

・自分たちが考えたプロジェクトを実行し、実行して見えてきた課題を改善し、在校生に伝統として引き継ぎ、卒業する場面。

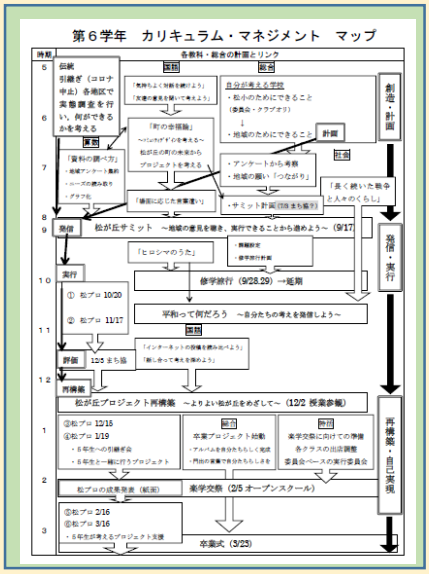
「ありがとう」と言う存在から「ありがとう」と言われる存在へ



グランドデザイン



カリマネマップ



「共に育つ学校（学校教育目標）」の達成に向けた「社会に開かれた教育課程」づくり

「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて
総合力が育つ仕組づくりからのアプローチ

学校運営協議会の中での熟議の深まり（学校経営に反映）

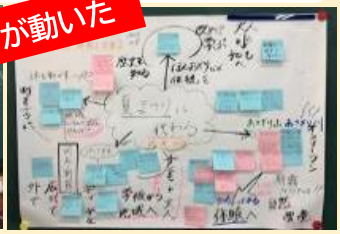
教師が動いた

地域が動いた

そうした熟議から新たなアイデアが

児童会の子どもと一緒に地域の行事を熟議

子どもが動いた



児童との熟議の結果をまちづくり協議会に持ち帰り
継続してまちづくり協議会で継続して熟議

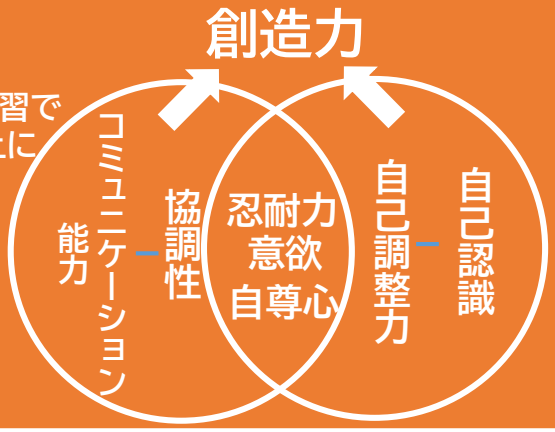
地域の方が企画したフィールドワーク

児童との対話をきっかけに広がる活動
朝霧川源流めぐり（神戸学院大学～朝霧小）
地域の方が企画したフィールドワークに教職員も参加
川でつながる学校から人でつながる学校へ

朝霧流プロジェクト型学習がスタート
朝霧版PBL・朝霧版STEAM

【朝霧流プロジェクト型学習とは】
社会的、地域的（朝霧のまちや明石市）に意味のある課題を学級・学年で共有し、仲間と協働しながら課題解決を目指す学習。

朝霧型プロジェクト学習で
非認知スキルの向上に
チャレンジ



熟議でつながり、熟議から生まれる新たなアイデア

地域×保護者×子ども×教職員
あさぎりウォーク

保護者が動いた

学校運営協議会で教師も参加し
プロジェクト学習を熟議

社会に開き
社会とつながる

地域とともにつくり、
修正し、深めていく
朝霧型プロジェクト学習

「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて
「地域を担う子どもたちへ」地域からのアプローチ

地域活動は未来を担う子どもたちを育てるプラットフォーム

魚住小学校区まちづくりアンケート（住民みんなで考えるまちづくり）
・今までの活動の成果を振り返り、これから先の活動へつなげる
・新しい人材の発掘も行い、ステップアップしたまちづくり協議会をめざす

魚住小学校区まちづくりアンケートでは「子ども大切な地域住民」と考え、小学生・中学生・高校生がアンケートに参加しています。その中で小学生にはまちづくり協議会さんが小学校6年生国語科の「町（まち）の幸福論」を活用した出前講座を実施されています。

出前授業の概要

魚住まちづくり協議会では2020年度から『町（まち）の幸福論』という学習（東京書籍：山崎 亮さん執筆）に関連させ、魚住小学校6年生の児童を対象に「まちづくり」についての出前授業を実施されています。

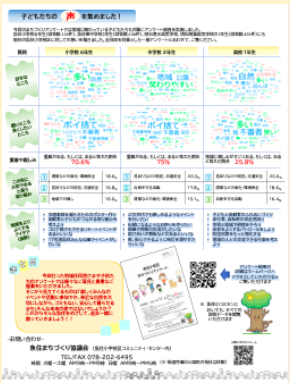
この単元ではコミュニティデザインがベースになっており、魚住小校区がどのようなまちになればいいかを子どもたちと一緒に考える授業を3回シリーズで実施されています。（魚住小学校区まちづくりアンケートの実施にあわせて小学6年生には小学生用のアンケートにも授業実施前と実施後で2回回答）

第1回目
まちづくり協議会事務局よりまちづくりの方向性や組織等についてパワーポイントを使って説明。

第2回目
提案内容を考える時間。どうすれば魚住小学校区がよくなるのかを議論。まち協職員が子どもたちの活動をサポート。

第3回目
グループで考えた提案内容を発表・交流。

子どもも大切な地域住民として共にまちづくりに参画できるんですね。



魚住まちづくり協議会まちづくりアンケート結果報告
https://uozumimachikyo.com/archives/4582

「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて
総合力が育つ仕組づくりからのアプローチ

学びを深める　探究を深める専門家との連携・協働

当事者意識の高まり

明石公園での環境体験学習

体験

・四季を通して、明石公園の樹木の観察
・四季の中での変化を。
　➡みる目

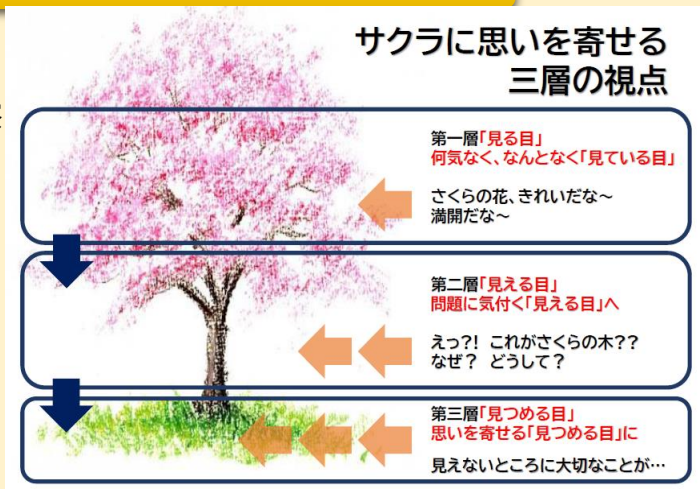
明石公園桜守ボランティアとの出会い

探究

・桜を守るって？どうして？なぜ？
・桜を元気にするにはどうするの？
　➡みえる目

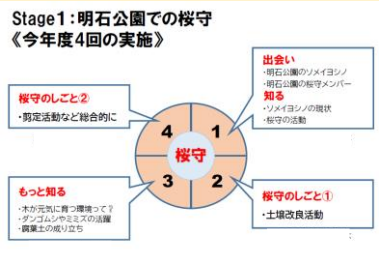
明石公園での桜守体験

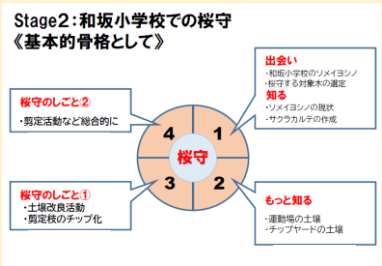
・桜の健康観察、治療方針。
・枝の剪定、土壌改良・・・。
　➡みつめる目



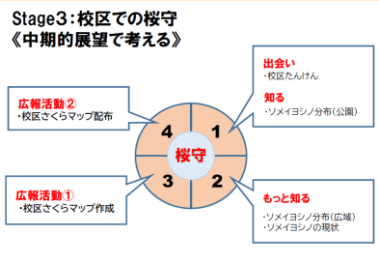
みる目➡みえる目➡見つめる目

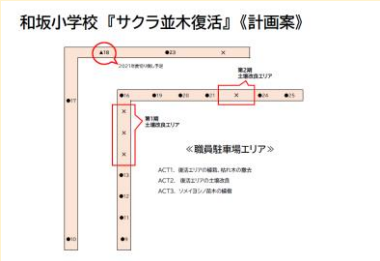
校内での桜守活動（自分たちにできる事）





地域の・・・





・２年で４本も枯れたから、しっかりと桜の健康観察をしないといけないな。
　　健康状態はどうかな？　コケをブラシで落としながらじっくりと。
・枯れている枝はこのままでいいのかな？　枝の剪定でが必要？
・もっと栄養が必要かな？　あれ、こんな虫が、害虫かな？
・樹木医さんに相談が必要だな

樹木医さん、桜守ボランティアさんからの専門的な指導
教科・学校の枠を超えた横断的な学び

ＳＴＥＡＭへ

子どもの学びを通して広がる学び
大人も巻き込む学びへ

活動例1）コロナ禍だから必要なこと　コロナ禍でもできること

松が丘サミット＆松が丘プロジェクト

コロナ禍で様々な行事が中止・縮小、人と人とのつながりが希薄になっていることが松が丘サミットで話題に。

地域の思いや願いを踏まえた上で、ガーデニングや将棋、ウォーキングなど、児童と地域の方とが交流できる９つのプロジェクトを児童が企画し、地域・保護者の皆さんに案内し実践。

オンラインで（Zoomで教室とコミセン会議室を結んで）対話

対面で対話

今こそ　人の交流が必要では

ガーデニングプロジェクトA・B

花壇に一緒に花の苗を植えました。
ガーデニングについても教えてもらいました。

折り紙プロジェクト

マンツーマンで折り方を説明しながら、一緒に楽しみました

運動の会プロジェクト

ストレッチ体操の後、校区を一緒にウォーキングしました。

ボッチャプロジェクト

パラリンピックで知ったスポーツ。幅広く楽しめました。

ミニゲームプロジェクト

トランプ・ジェスチャーゲーム。神経衰弱は子どもが得意？

コラージュプロジェクト

自己紹介カードをつくりました。センスある作品ばかり！

ゴミ拾い大会プロジェクト

校区を2チームでまわり、ゴミを拾い、分別までしました。

将棋・百人一首プロジェクト

将棋の真剣勝負です。地域の方はとても強かったです。

振り返り・修正

第2回プロジェクト実施12月

活動例2） 大人の学びの場として（地域の学びの拠点に向けて）

大人も楽しむ天文教室

大人も楽しむ子育て教室

大人も楽しむ書道教室

大人も楽しむ折り紙教室

Zoom体験教室

Zoomでブックトーク

Zoom接続訓練
（授業の様子を配信）

Zoomで読み聞かせ
（配信テスト）

活動例3） 地域の中で大人の背中から

コロナ禍で制約がある中で、できる事を継続的に

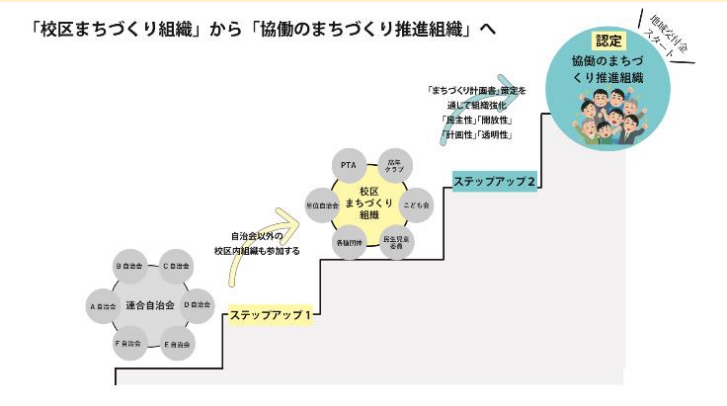
コミュニティ・スクールを支える明石の土壌

明石市自治基本条例

〇地域コミュニティづくりの歴史
➡昭和46年「人間優先の住がいのある
コミュニティづくり」
日本で最初のコミュニティセンター
受け継がれるコミュニティづくりの精神
➡明石市自治基本条例（平成22年4月施行）
自治の基本3原則
「市民参画」「情報共有」「協働のまちづくり」
・28小学校区・13中学校区に
コミュニティ・センター
・小学校区ごとに地域課題を総合的に対応する「協働のまちづくり推進組織」
スポーツクラブ21、スクールガード、地域支援諸団体等

まちづくりのいま・これから
～校区まちづくり組織・協働のまちづくり推進組織とは～

校区連合自治会が中心になり、子ども会、高年クラブ、PTAやボランティア団体など地域で活動する各種団体で構成される組織です。各団体の特性を生かし、様々な活動を行っています。



明石市では、市内の28小学校区の全てで、〇〇まちづくり協議会、〇〇小学校区コミュニティ推進協議会などの名称で結成されています。この「校区まちづくり組織」が、
①民主性②開放性③計画性④透明性を備え、より多くの人と協力しながら地域での課題・問題に総合的に対応できる持続可能な「協働のまちづくり推進組織」を目指されています。

熱心な地域・進む地域づくり

労働人口・雇用環境の変容　地域社会・家族の変容
急速な少子高齢化
格差社会　社会保障費
いつの間にか課題先進国
グローバル化　AI時代の到来　多様性
環境問題や気候変動の深刻化

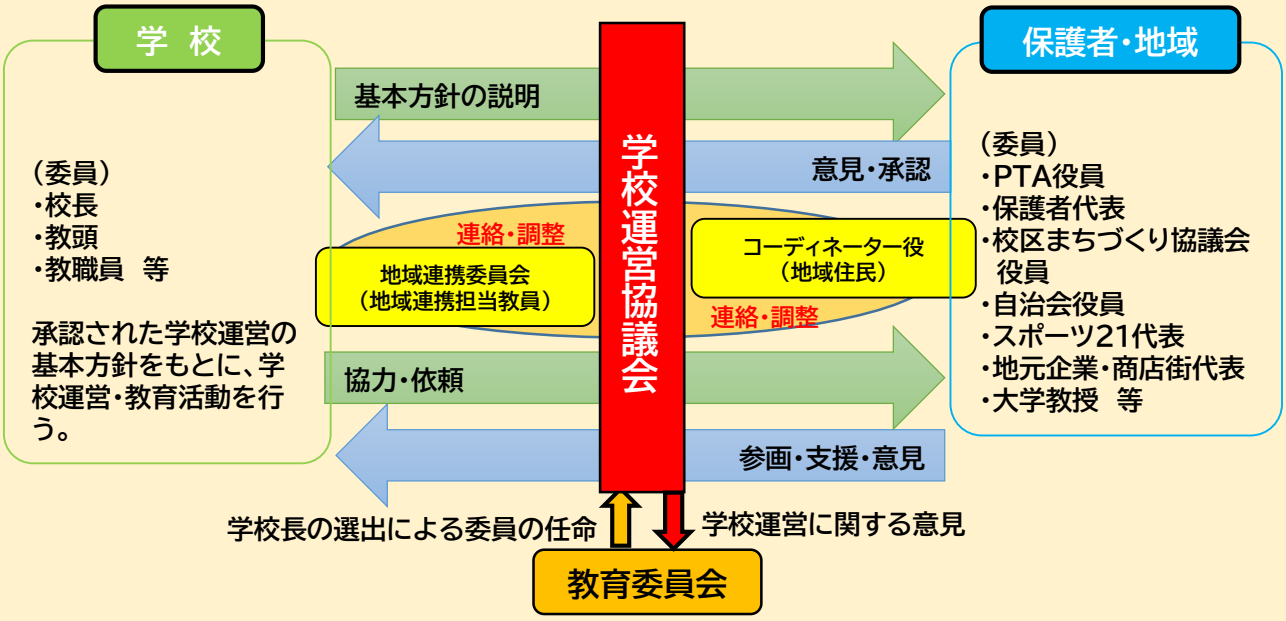
※様々な組織の課題➡持続可能な組織へ
「義務的な参加」だけでは持続困難。
多様な「人」が「個」として関わる柔軟な組織づくりへ。
この指とまれ方式で当事者意識の芽生えを。

※キーワードは
➡当事者意識

まちづくりや地域活動が扱う課題も多様化

移り変わる社会　学校　まちづくり

コミュニティ・スクールって？　学校運営協議会って？



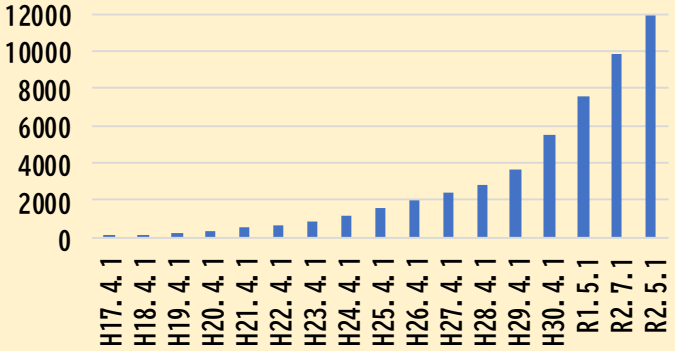
コミュニティ・スクール＝「学校運営協議会」が設置されている学校
【学校運営協議会の主な役割】（「明石市学校運営協議会の設置等に関する規則」より）
〇校長が作成する学校運営の基本方針の承認をすること（必須）
〇学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べることができる。
〇教職員の任用に関して、教育委員会規則に定める事項について、教育委員会に意見を述べることができる。（それぞれの学校の持つ課題解決に向けての一般的な意見）
よりよい学校づくりについて、学校・保護者・地域が話し合います。

コミュニティ・スクール進捗状況

全国の取組状況（令和3年5月1日現在

コミュニティ・スクール導入状況（学校数）
・全国9778校（令和2年5月1日）
➡全国11,856校（令和3年5月1日）
幼：237園→276園　小：5,884校→7,051校
中：2,721校→3,339校
義務：76校→95校　中等：3校→4校
高校：668校→668校　特支：199校→286校
全国の学校のうち33.3%がコミュニティ・スクールを導入

全国のコミュニティ・スクールの数



明石市の取組状況

2017（平成29年）年度（取組開始）
〇文科省「学校・家庭・地域連携協力推進事業」の実施
・コミュニティ・スクール モデル校の設置
（松が丘小学校）
学校運営協議会設置、会の開催（年間4回）
・地域連携担当教員の配置・協働に関する研究
・明石市CS検討会議の設置、開催（年4回）

2018（平成30年）年度
〇コミュニティ・スクール モデル校の拡充
（松が丘小学校、朝霧小学校、二見北小学校）

2019（令和元年）年度
〇市立小学校全校でコミュニティ・スクールを導入
・「学校評議員制度」を廃止し「学校運営協議会」を設置

2020（令和2年）年度
〇市立中学校全校でコミュニティ・スクールを導入予定

2021（令和3年）年度
〇高丘小中一貫教育校が開校

子どもが育つ　大人も育つ　地域も社会も育つ
新たな学校園づくり

明石市のコミュニティ・スクール情報

〇あかしSDGｓ推進計画（明石市第6次長期総合計画）
◇2030年までのまちづくりの指針となる「あかしSDGs推進計画（明石市第6次長期総合計画）」を策定しました。この計画では、2030年のまちの姿を、「ＳＤＧｓ未来安心都市・明石」～いつまでも　すべての人にやさしいまちを　みんなで～」と定めてまちづくりを進めていきます。

〇明石市教育大綱
◇あかしＳＤＧｓ推進計画（明石市第6次長期総合計画）を踏まえて、令和4年3月に「明石市教育大綱」を改定しました。 本大綱は、本市の教育の大きな方向性を示したものであり、教育行政に係る今後の具体的な取組等については、第3期あかし教育プランの中で、大綱の基本目標や方針を反映して決定します。

〇第3期あかし教育プラン
◇明石市教育委員会では、現在策定している「第2期あかし教育プラン（明石市教育振興基本計画）」が2021年度で計画期間を終えることを受け、新たな教育課題にも的確に対応していくため、2022年2月に、2022度以降の教育行政推進の基本となる「第3期あかし教育プラン（明石市教育振興基本計画）」を策定しました。

概要版

〇第2次明石生涯学習プラン
◇明石市生涯学習ビジョンが策定され10年以上が経過し、その間、少子高齢化の加速やデジタル技術の飛躍的発展に伴う生活環境の変化、男女共同参画意識や共生社会意識の浸透など、さらには新型コロナウイルスによる生活様式や社会規範・経済活動意識の変革が進んでいます。
このような社会情勢の変化や、生涯学習に対するニーズの拡大を踏まえ、必要とされる「学び」とは何かを明らかにし、様々な主体が生涯学習を推進していくことを目的として「第2次明石市生涯学習ビジョン」を策定しました

〇明石市にコミュニティ・スクールについて
◇明石市のコミュニティ・スクールについての考え方を紹介しています。

〇コミュニティ・スクールだより「コミコミスクスク」を発行
◇明石市のコミュニティ・スクールの情報をお便りにして発行しています。

〇Twitterページでも情報発信中
◇明石市のコミュニティ・スクールの情報をTwitterページでも発信しています

〇まちなびAKASHI
◇明石のイベント・地域情報
（各校区のまちづくり情報のページのリンクもあります）

SDGs未来安心都市・明石
いつまでも すべての人に やさしいまちを みんなで
明石市教育委員会事務局学校教育課
Tel　078-918-5055　Mail gakkyo@city.akashi.lg.jp